

# ネイチャーセンターだより



## 春国岱・風蓮湖 生きもの図鑑

### ミヤコドリ

英名：Eurasian Oystercatcher 学名：Haematopus ostralegus



黒、白、赤の三色の配色が特徴的なハトよりも少し大きなチドリの仲間です。長い足で干潟を歩きまわって、主に二枚貝を食べますが、カニ、ゴカイなども食べます。長いくちばしで器用に貝を開いてたべます。

春国岱には、渡りの途中に立ち寄ります。4月中旬～5月初旬によく見られます。ここ数年、少数が夏も春国岱に残るようになりました。

## ネイチャーセンター日記

雪がとけて、フクジュソウがきらきらと輝く黄色い花を開きました。

まだまだ寒い日もありますが、森からはシジュウカラやミソサザイの元気なさえずりが聞こえてきます。子育てにむけて、なわばり宣言やお嫁さん探しのはじまりです。

オオワシやオオハクチョウたちが北に旅立ち、少し静かになっていた風蓮湖・春国岱に、タンチョウやルリビタキ、ノビタキ、オオジシギなど夏を根室で過ごす鳥たちがつぎつぎと渡ってきています。

5月を過ぎると森や草原の草花もぐんぐんと成長します。新しい季節の始まりです。

## ～春国岱クイズ～

シギやチドリの仲間は、渡りの途中に根室（風蓮湖・春国岱）に年2回やって来ます。5月頃、子育てのために繁殖地に向かって移動（春の渡り）をしますが、どの方向に飛んでいくでしょうか？

- A：北に向かって飛ぶ
- B：南に向かって飛ぶ
- C：東に向かって飛ぶ
- D：西に向かって飛ぶ



ヒント：サクラ前線（サクラの開花）が進む方向と同じです。

答えは来月号

（先月号の答え B）

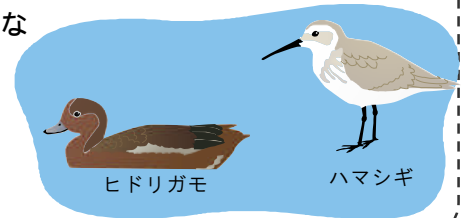
# ネイチャーセンターからのお知らせ

## 東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ

ラムサール条約湿地「風蓮湖・春国岱」には、毎年たくさんの渡り鳥がやってきます。冬を過ごすため、子育てをするため、移動の途中に休憩するため、北の繁殖地から南の越冬地に移動するときに、その途中に転々と連なる生息地を利用します。「風蓮湖・春国岱」は、そんな渡り鳥にとって重要な生息地の1つとなっています。

「風蓮湖・春国岱」は渡り性水鳥の飛来が多く、中でも個体数が多いのは、カモの仲間、オオハクチョウ、シギ・チドリの仲間です。2009年度の調査では、ラムサール条約や東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークの参加基準である推定個体数の1%基準をオオハクチョウ、コクガンが、0.25%基準をミヤコドリ、メダイチドリ、キョウジョシギ、ヒバリシギ、ヘラシギ、キアシシギがクリアしていました。また、渡り鳥ではありませんが、タンチョウも参加基準(1%基準)を超える個体数が「風蓮湖・春国岱」を利用していました。

多くの渡り鳥が訪れる「風蓮湖・春国岱」には、まだ豊かな自然環境が保たれています。2005年にラムサール条約に登録され、今年で5周年をむかえます。新たに東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークへの参加をめざして、取り組んでいます。



## ボランティアの活動

### ■ オオハクチョウの数を数えました ■

2009年度もオオハクチョウの個体数調査を行いました。合計6回の調査を行い、最も数の多かった3月29日の調査では、風蓮湖・温根沼を合わせて4,858羽が確認されました。

オオハクチョウは、氷の解けた風蓮湖や温根沼でアマモなどの水草を食べ、渡りのための体力を蓄え、3月末をピークにどんどんと渡っていきます。また、秋になると風蓮湖にやってきます。

風蓮湖・春国岱 2010年春 オオハクチョウ飛来数 3月29日 現在			
環境省環境自然野生動物保護センター ネイチャーセンター レンジャー しらべ			
	風蓮湖全体	春国岱、スワン44周辺	温根沼周辺
	3,531	1,874	800
	382	196	145
合計	3,913	2,070	945

風蓮湖・温根沼合わせて4,858羽になりました。  
 昨年のこの時期の飛来数は3月27日で、3,750羽でした。  
 今年度のオオハクチョウの調査はこれで終了です。

## フィールドボランティア募集中！！

風蓮湖・春国岱で活動しませんか？

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。



対象：高校生以上  
 保険料：300円(年間)が必要となります。



【お問合せ】電話 0153-25-3047

# 自然観察路周辺の自然情報 \* 5月 \*

オオセグロカモメやウミネコがよくみられます  
カモメの仲間

ベニマシコ  
ゴマ  
オオジュリン

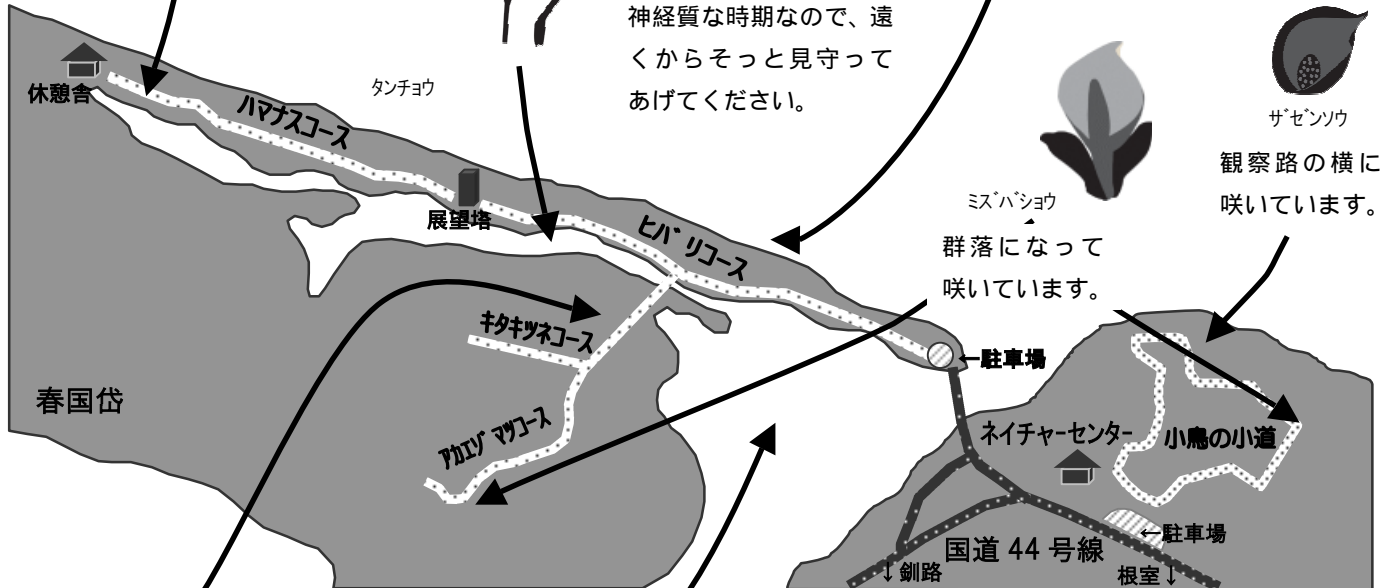
ルビタキ

南から渡ってきた夏鳥たちがにぎやかになわばり宣言をします。草原は、オオジュリンやノビタキ、ノゴマ、ベニマシコなどが元気にさえずるようになります。

オジロシ  
子育て中や若いオジロシがえさを探して飛んでいます。

ヒバリ  
天高く舞い上がり、一生懸命さえずります。あちらでピチチ、こちらでピチチ...。なわばり宣言とお嫁さん探しに大忙しです。

ヒナがかえり親子で歩いている姿が見られるようになります。とても神経質な時期なので、遠くからそっと見守ってあげてください。



キツキの仲間  
ホウロクシギ

森の中から、アカゲラやオオアカゲラなどが木を叩くドラミングの音が聞こえてきます。運がよければクマガエラに会えるかも.....！立ち枯れた木に新しくつついた跡があれば、出会えるチャンスです。

干潟で貝やゴカイなどを食べます。潮の引き始めと満ち始めのときが観察には最適です。

コヤマカタハミ  
エゾオオサクラソウ  
ヒメイチゲ  
エゾエンゴサク  
オオバナノエンレイソウ

小鳥の小道に、さまざまな花が咲きはじめます。

ミソサザイ  
ルビタキ  
学習林や春国岱のアカエゾマツコースで大きな声でさえずります。

# イベント・展示情報

## ★春の森で小鳥に会おう！

子育てのために春国岱にやってくる小鳥たちを観察します。草原でさえずのノビタキや森でエサを探すキツツキの仲間など、いつもより少し早起きをして、彼らのくらしをのぞいてみませんか。

日時：5月29日(土)

7:00~9:30 \*雨天中止

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

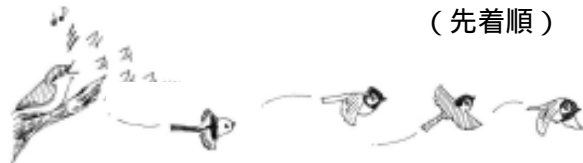
定員：20名

集合場所：根室市春国岱原生野鳥公園  
ネイチャーセンター1階

持ち物：外を歩ける服装、あれば双眼鏡・  
望遠鏡、図鑑

参加費：保険代100円

申込み：5月25日までに電話にて受付  
(先着順)



## ★ゴールデンウィーク・クラフトコーナー

春国岱やネイチャーセンター周辺で拾ってきた自然の素材を使って作品を作れます。必要な道具や材料はセンターでそろえています。もちろん、自分で拾ってきた材料も大歓迎です。

日時：3月27日(土)~5月5日(水)

9:00~17:00(随時)

対象：どなたでも

会場：根室市春国岱原生野鳥公園

ネイチャーセンター1階

参加費：無料

申込み：不要



## ★展示「エトピリカの暮らし」

根室にも生息するエトピリカの暮らしを、ゲームなどを交えて紹介します。

日時：4月25日(日)~5月23日(日)

開館時間中

## 団体の方へ~解説プログラムのご案内~

- 事前にお申し込みが必要です。
  - 野外での解説は、学校など自然体験を目的とした団体などに限らせていただきます。
- 詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。(電話 0153-25-3047)



- ① 野外解説・自然学習 (〜2時間 / 〜20名)
- ② 春国岱の自然(映像) (15分〜25分 / 〜45名)
- ③ 自然クイズラリー (約1時間 / 〜50名)
- ④ タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム (30分〜2時間 / 〜20名)
- ⑤ 施設概要説明 (30分〜2時間 / 〜45名)

### ~メール配信のお願い~

ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。  
連絡先：nemu\_nc@marimo.or.jp  
※ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。



## 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

- 住所 ■ 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
- 電話 ■ 0153-25-3047 ■FAX ■ 0153-25-8570
- HP ■ [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)
- メール ■ [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)
- 5月の開館時間 ■ 9:00~17:00
- 5月の休館日 ■ 6, 7, 11, 12, 13, 19, 20, 26

